

第2期 2020～2024年

睦沢町教育振興基本計画 中間評価



基本理念

郷土を誇りに思う心と人間力・社会力の育成
および生涯にわたる幅広い学びの推進



睦 沢 町 教 育 委 員 会

「第2期睦沢町教育振興基本計画 評価報告書」

1. 評価目的

2020年からスタートした「第2期睦沢町教育振興基本計画」が今年度中間点となることから、ここまでの取組に対して、児童生徒及び保護者からみた重要度と満足度を把握・分析する中間評価を行い、達成状況や課題を明確にし、これからの第2期後半の改善を目指す。

2. 評価内容

1. 評価対象 小学生（97名） 5年生（46名） 6年生（51名）
（729名） 中学生（150名） 1年生（53名） 2年生（49名） 3年生（48名）
保護者（482名） こども園保護者（131名） 小学校保護者（214名）
中学校保護者（137名）

2. 評価項目

- (1) 一人一人の学力を伸ばす教育の推進
- (2) 自ら学び、ともに学び、生きて働く学力の育成
- (3) 伝統文化を尊重し郷土への愛情と誇りを持ち、グローバル化に対応する教育の推進

- (4) キャリア教育・職業教育の推進
- (5) 技術革新に対応する教育の推進
- (6) 人格形成の基礎を培う幼児教育、保育の充実
- (7) 豊かな心を育む教育
- (8) いじめ防止対策の推進と生徒指導の充実
- (9) 人権を尊重した教育の推進
- (10) 健康（幸）の保持増進
- (11) 体力の向上と学校体育活動の推進
- (12) 障がいのあるこどもへの支援、指導の充実
- (13) 不登校児童、生徒等への支援
- (14) 一人一人の状況に応じた支援
- (15) 教職員の資質、能力の向上
- (16) 園小中一貫教育の推進と魅力ある学校づくり
- (17) 子どもたちの安心、安全の確保
- (18) 技術革新や情報化に対応する学習環境の整備
- (19) 家庭教育支援体制の充実
- (20) 家庭、地域と連携、協働した教育の推進
- (21) 生涯学習推進体制の強化
- (22) 芸術文化の振興と伝統文化の継承
- (23) 運動やスポーツに親しみ「健幸長寿のまちづくり」の推進と障がい者スポーツの理解と啓発

3. 評価方法

マークシートによるアンケート（アンケートの集計はSQSシステムによる）

4. 評価期間

2020年4月 ～ 2022年3月

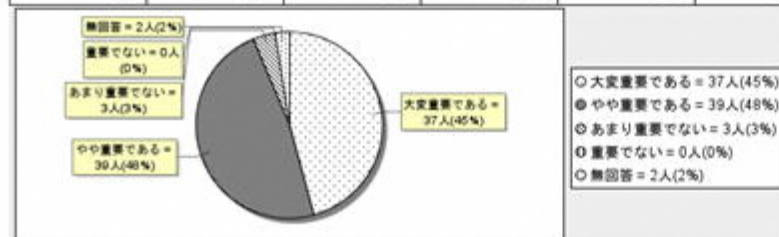
3. 評価結果 ～ 教育振興基本計画 重点施策23項目より ～

I 小学校(小5・小6)中学校の児童生徒アンケート評価集計結果(回収率:89%)

1. こども園、小学校、中学校のつながりや交流を大切にした睦沢町の教育は、「学力向上」につながっている

(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
37	39	3	0	2	81
45%	48%	3%	0%	2%	100%



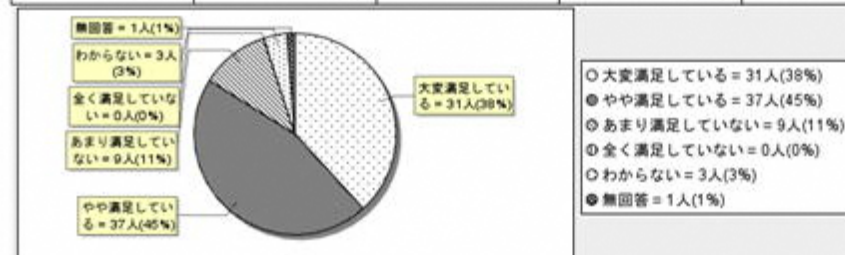
【小学生】

一貫教育の重要性を感じている小学生が多いことが見て取れる。

満足度についても、高い割合を示しており、小学1年や中学1年での接続期に大きな課題に直面していないことがうかがわれる。

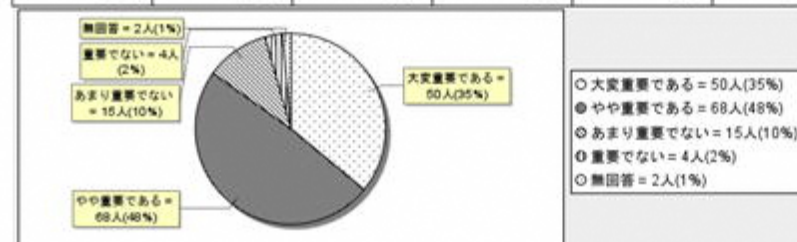
(B)満足度

大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
31	37	9	0	3	1	81
38%	45%	11%	0%	3%	1%	100%



(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
50	68	15	4	2	139
35%	48%	10%	2%	1%	100%



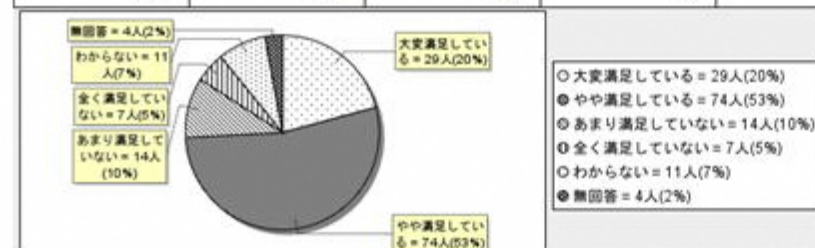
【中学生】

中学生においても、重要度や満足度について同様の傾向を示しており、一貫教育は重要であり、概ね現在の状況への満足度は高いと考えている生徒が多いことがわかる。

今後も、接続カリキュラムを図ったり、授業改善を積極的に行うことで、児童生徒の「学力向上」につなげていきたい。

(B)満足度

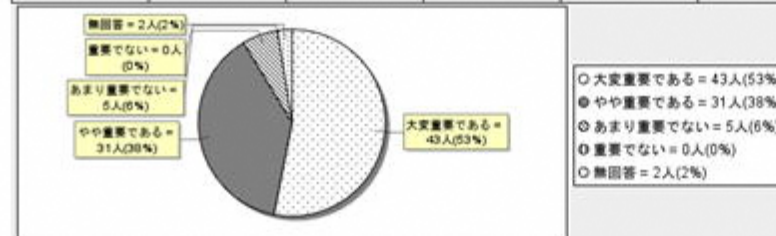
大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
29	74	14	7	11	4	139
20%	53%	10%	5%	7%	2%	100%



2. 日頃の学習を通して、自分は「考える力」や「意見を聞いたり伝えたりする力」が向上している

(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
43	31	5	0	2	81
53%	38%	6%	0%	2%	100%



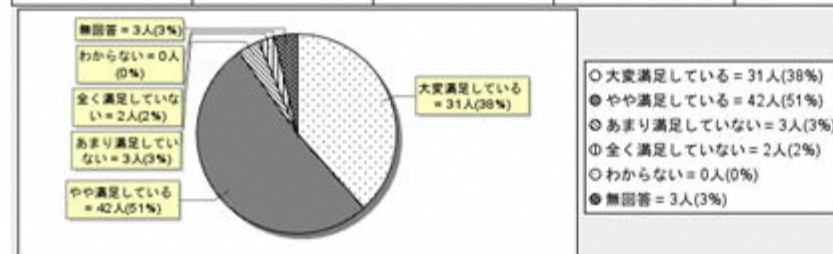
【小学生】

小学生においても、「考える力」や「相手とのコミュニケーション力」の重要性を認識している。また、自分に当てはめた場合、概ね向上していると考えているようである。

これらは、将来の「生きる力」にもつながる重要なものと考えられるため、日頃の学習の中でも重視していきたい。

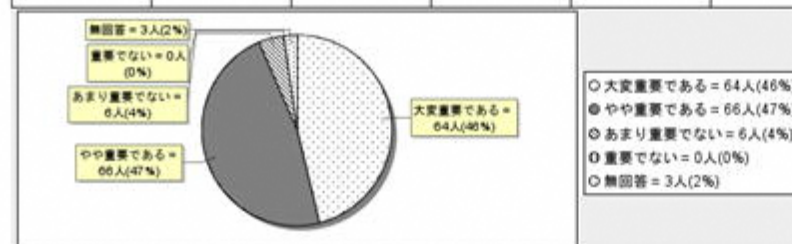
(B)満足度

大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
31	42	3	2	0	3	81
38%	51%	3%	2%	0%	3%	100%



(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
64	66	6	0	3	139
46%	47%	4%	0%	2%	100%



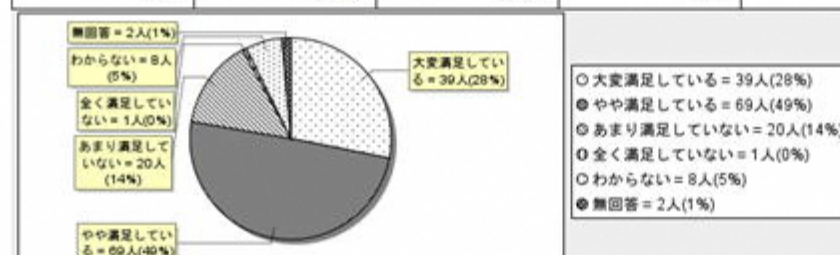
【中学生】

傾向は小学生と似ており、「考える力」や「相手とのコミュニケーション力」は重要であり、自身自身に置き換えても概ね向上しているとの認識である。

重要度が非常に高い割に、満足度がそこまで到達していないところは、今後の教育課題の一つとして子どもたちに力を付けていきたい部分と考えられる。

(B)満足度

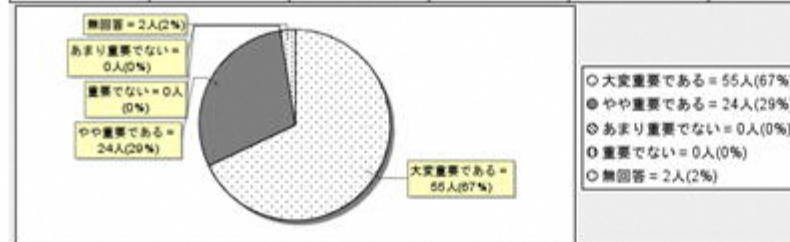
大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
39	69	20	1	8	2	139
28%	49%	14%	0%	5%	1%	100%



3. 学校でのタブレットや大型モニターなどを使った学習や外国語（英語）の学習は充実している

(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
55	24	0	0	2	81
67%	29%	0%	0%	2%	100%



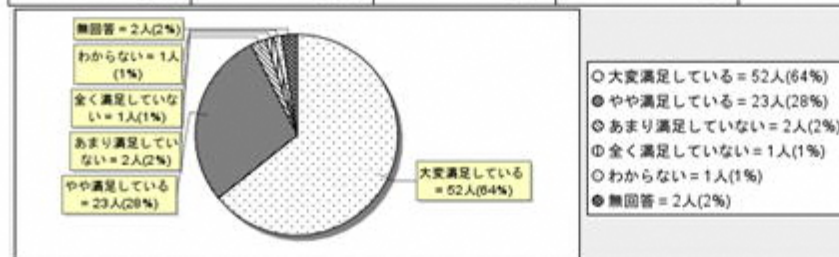
【小学生】

小学生にとって、ICT機器を生かした教育や外国語教育の重要性の高さが顕著であった。将来の自分に必要なものとの認識が強い。

満足度も非常に高く、教育全般での取組も功を奏していることが垣間見える。

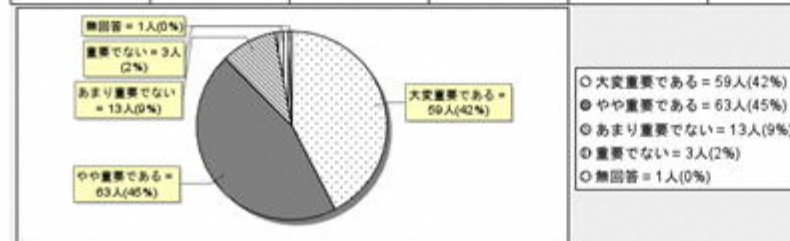
(B)満足度

大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
52	23	2	1	1	2	81
64%	28%	2%	1%	1%	2%	100%



(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
59	63	13	3	1	139
42%	45%	9%	2%	0%	100%

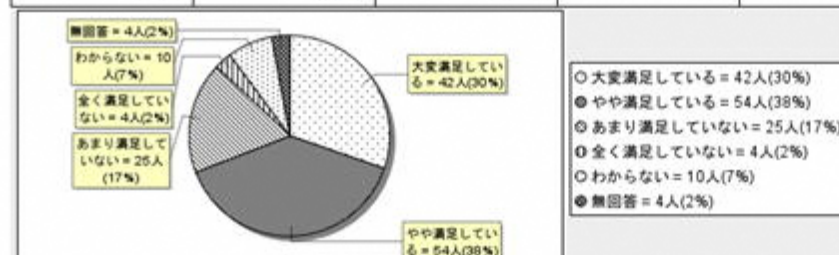


【中学生】

中学生においても、重要度の割合が高いが、小学生に比べるとやや満足度は低い。

中学校では、学習内容がより高度になり難しさが増えることが満足度に表れていることが考えられる。日頃の学習の中で、定着を十分に図りながら進めることが重要と考える。

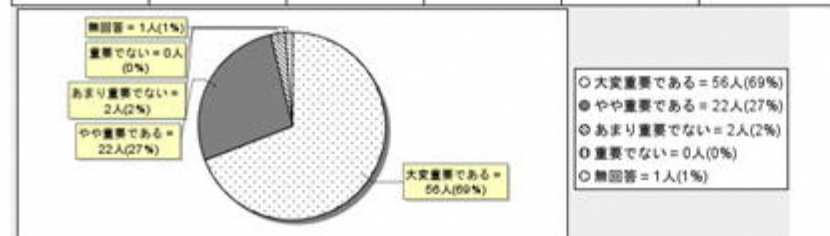
大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
42	54	25	4	10	4	139
30%	38%	17%	2%	7%	2%	100%



4. 自分の将来に対し、夢や希望をもって生きていこうとしている

(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
56	22	2	0	1	81
69%	27%	2%	0%	1%	100%

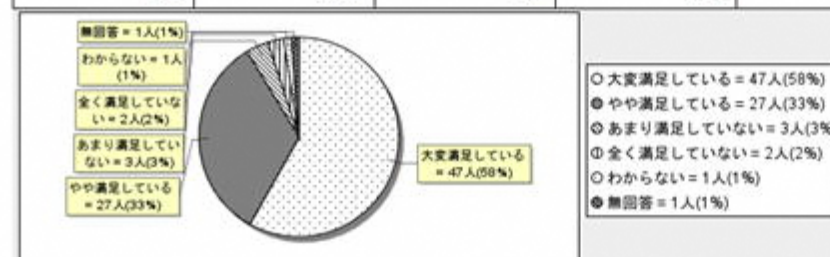


【小学生】

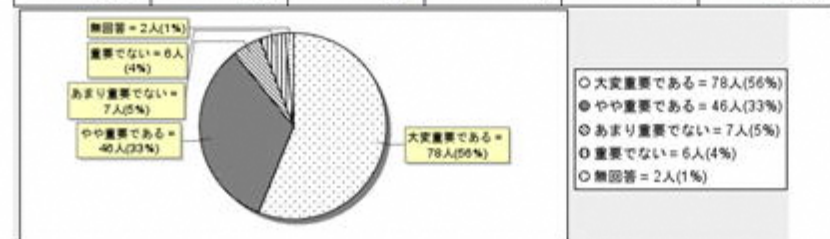
これからの先の将来、夢や希望をもって生きることの重要性を認識している小学生が多いことがわかる。

夢や希望を適切にもつためにも、自身の変容や成長を自己評価・実感できる「キャリアパスポート」の活用を積極的に図りたい。

大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
47	27	3	2	1	1	81
58%	33%	3%	2%	1%	1%	100%



大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
78	46	7	6	2	139
56%	33%	5%	4%	1%	100%



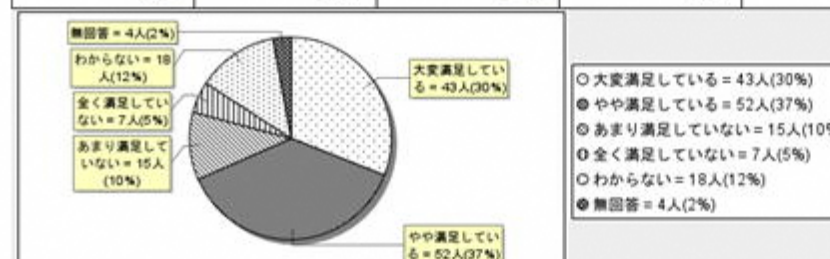
【中学生】

小学生と同様に中学生でも、夢や希望をしっかりとって生きていこうとする姿勢があることがわかる。

満足している生徒が7割弱いる一方で、3割弱の生徒が自分の将来への展望を明確にできていないことから、「夢や希望」を育む大切さを人生の先輩から教わるなどの活動を工夫したい。

(B)満足度

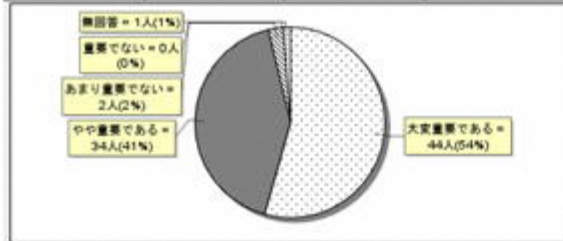
大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
43	52	15	7	18	4	139
30%	37%	10%	5%	12%	2%	100%



5. 自分は、授業の中でタブレットや大型モニターなどの機器を効果的に使って、情報活用能力が向上している

(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
44	34	2	0	1	81
54%	41%	2%	0%	1%	100%



○ 大変重要である = 44人(54%)
 ● やや重要である = 34人(41%)
 ○ あまり重要でない = 2人(2%)
 ○ 重要でない = 0人(0%)
 ○ 無回答 = 1人(1%)

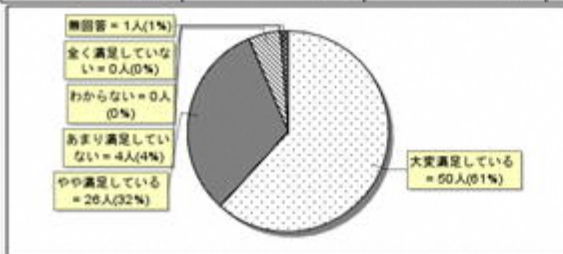
【小学生】

情報化社会の現代を生き抜く児童にとって、情報をいかに適切に収集し、それを活用できるかは重要な能力の一つと言える。そして、多くの児童がその重要性を捉えている。

学校でも積極的にICT機器を活用した学習を展開していることが満足度の高さに結びついている。

(B)満足度

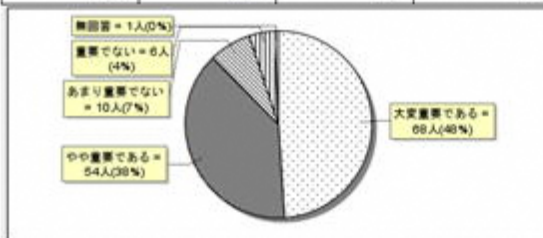
大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
50	26	4	0	0	1	81
61%	32%	4%	0%	0%	1%	100%



○ 大変満足している = 50人(61%)
 ● やや満足している = 26人(32%)
 ○ あまり満足していない = 4人(4%)
 ○ 全く満足していない = 0人(0%)
 ○ わからない = 0人(0%)
 ● 無回答 = 1人(1%)

(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
68	54	10	6	1	139
48%	38%	7%	4%	0%	100%



○ 大変重要である = 68人(48%)
 ● やや重要である = 54人(38%)
 ○ あまり重要でない = 10人(7%)
 ○ 重要でない = 6人(4%)
 ○ 無回答 = 1人(0%)

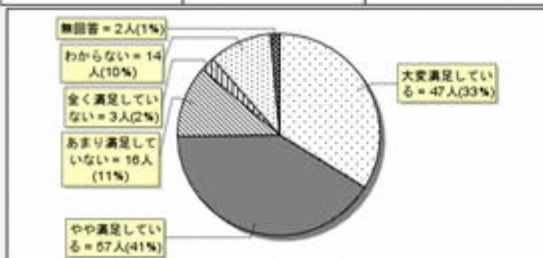
【中学生】

満足度は小学生より若干減るものの、小学生と同様、情報をいかに有効活用できるかが大切になるなることが強く実感できているようである。

ICT機器の活用を十分に図り、さらに情報発信できるスキルの向上も必要である。また、情報社会のルールや情報セキュリティ、情報モラルについても適切な指導を継続したい。

(B)満足度

大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
47	57	16	3	14	2	139
33%	41%	11%	2%	10%	1%	100%

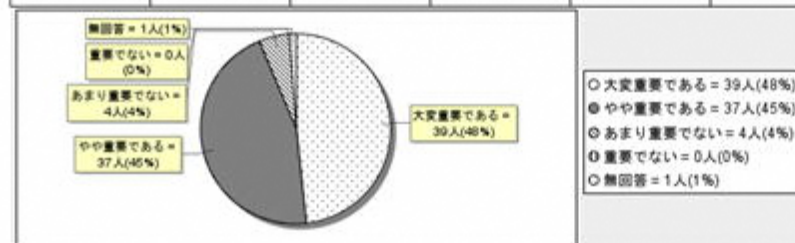


○ 大変満足している = 47人(33%)
 ● やや満足している = 57人(41%)
 ○ あまり満足していない = 16人(11%)
 ○ 全く満足していない = 3人(2%)
 ○ わからない = 14人(10%)
 ● 無回答 = 2人(1%)

6. 町では、小学校入学前の幼児教育や子どもたちを預かってお世話をする保育サービスが充実している

(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
39	37	4	0	1	81
48%	45%	4%	0%	1%	100%



【小学生】

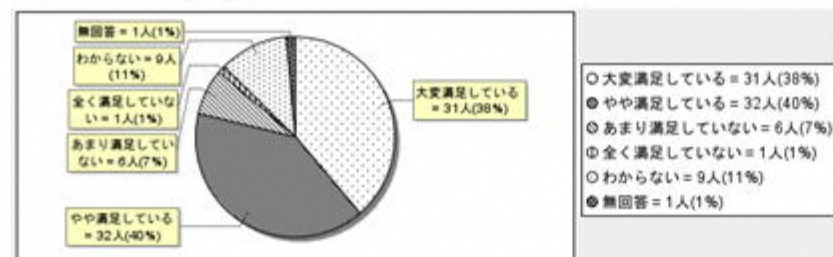
小学生にとって、成長過程の中で通ってきた「幼児教育」であるが、その重要度や満足度には高い値を示している。

満足度についても、概ね高い割合を示していた。園小の接続を円滑にするためにも、園小の教職員が互いに理解し合うための接続カリキュラム（特に年長と小1の接続）のより望ましい改善が期待される。

(B)満足度

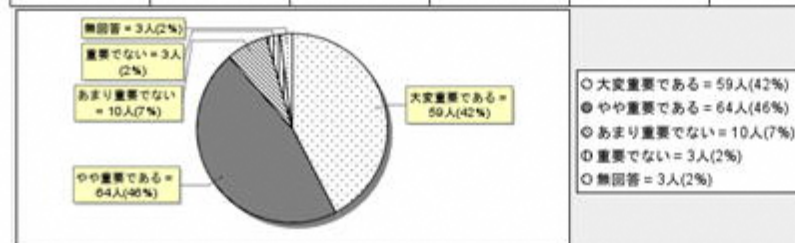
大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
31	32	6	1	9	1	80
38%	40%	7%	1%	11%	1%	100%

※ 多重回答エラー:1 (1%)を除く



(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
59	64	10	3	3	139
42%	46%	7%	2%	2%	100%



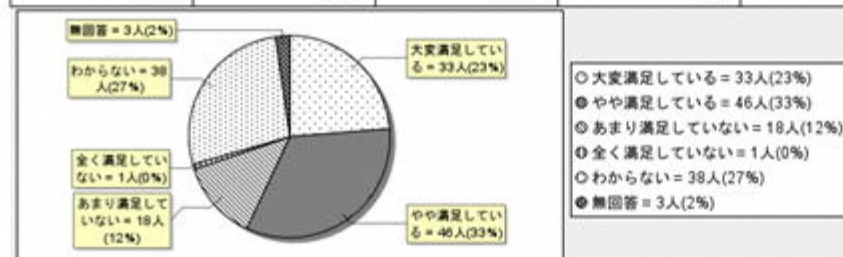
【中学生】

中学生では、幼児教育の重要性に理解を示している。半数以上に満足度が認められるが、満足感をもてない生徒もある程度いる。その具体的な理由については、再度検討の余地がありそうである。

園小中それぞれの「目指す幼児像、児童像、生徒像」について、一貫教育の趣旨に沿ったものであるか点検しておきたい。

(B)満足度

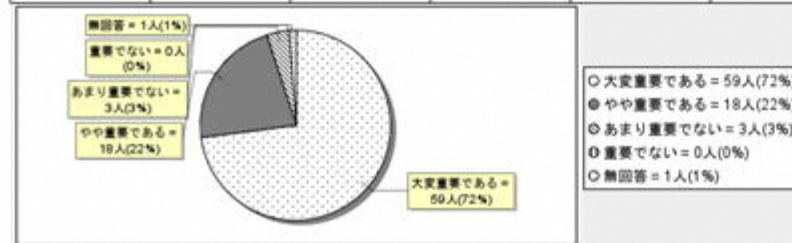
大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
33	46	18	1	38	3	139
23%	33%	12%	0%	27%	2%	100%



7. 人を思いやったり、ルールを守ったりするなど、自分は豊かな人間性や社会性が育っている

(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
59	18	3	0	1	81
72%	22%	3%	0%	1%	100%



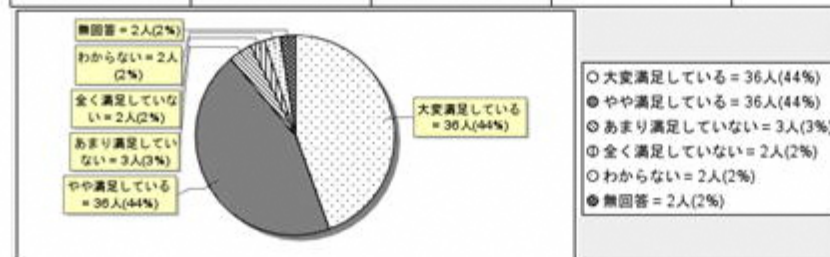
【小学生】

「豊かな人間性や社会性」の大切さを認識している割合は高く、満足度も高い割合を示している。

他者との関わりがより一層重視されるこれからにおいて、他者と協働して何かを成し遂げる体験をもたせ、社会性と同時に「自己肯定感」や「自己有用感」を高めることが重要となる。

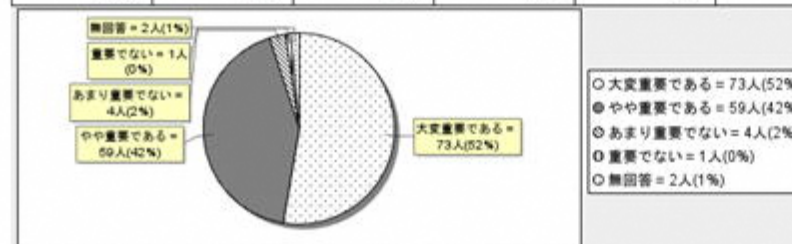
(B)満足度

大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
36	36	3	2	2	2	81
44%	44%	3%	2%	2%	2%	100%



(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
73	59	4	1	2	139
52%	42%	2%	0%	1%	100%



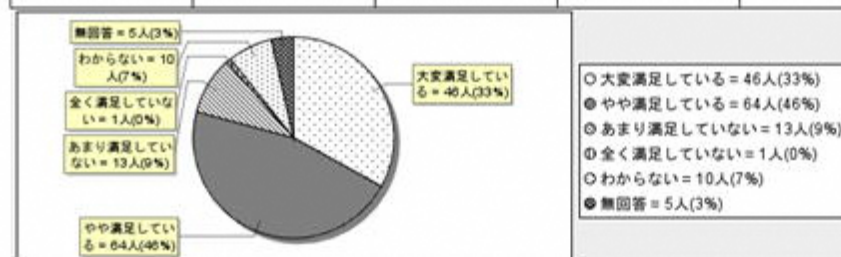
【中学生】

中学生は、小学生以上に重要性を認識している生徒が多く、全体の94%に達している。また、小学生と同様、満足度も高い。

周囲の人のことを考えて積極的に行動したりするボランティア活動への参加を促したい。また、生徒の本音を引き出したり、「考え、議論する道徳」を重視した学習づくりを心がけたい。

(B)満足度

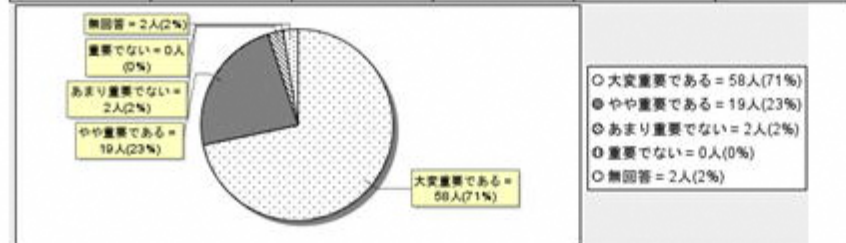
大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
46	64	13	1	10	5	139
33%	46%	9%	0%	7%	3%	100%



8. 学校では、いじめの未然防止や早期発見・早期対応に努め、安心して学べる学校づくりに取り組んでいる

(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
58	19	2	0	2	81
71%	23%	2%	0%	2%	100%



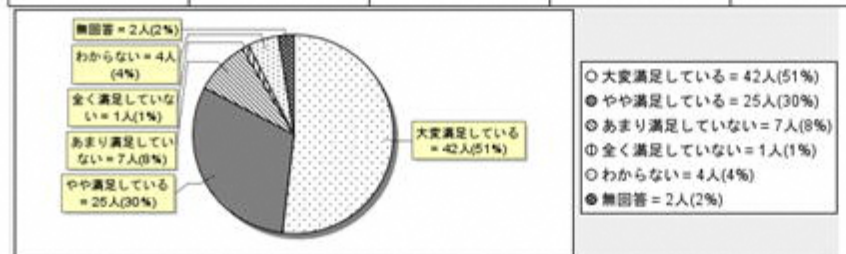
【小学生】

小学生の「いじめ」に関する重要度は非常に高く、満足度においても概ね高い割合を示している。

「いじめゼロの日」を形骸化させることなく、いじめは絶対に許さないとの意識をもたせると同時に、アンケートや教育相談を充実させ、実態把握を定期的に行っていくことが重要となる。

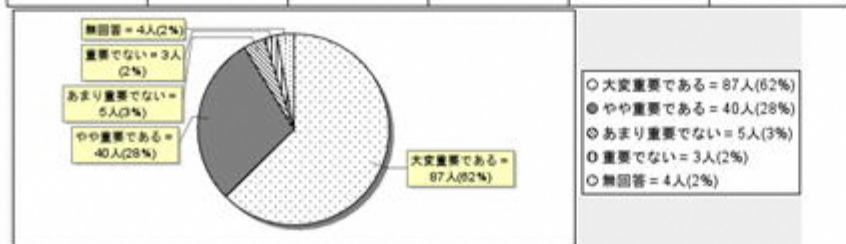
(B)満足度

大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
42	25	7	1	4	2	81
51%	30%	8%	1%	4%	2%	100%



(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
87	40	5	3	4	139
62%	28%	3%	2%	2%	100%



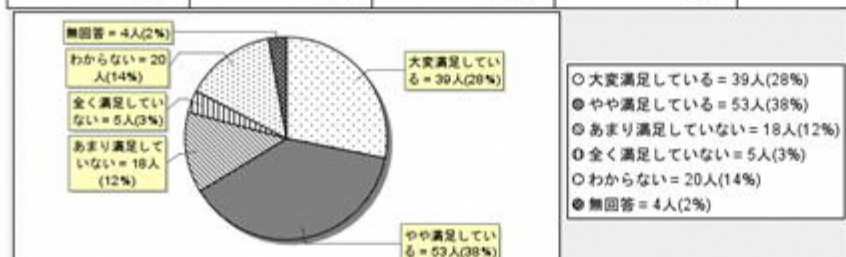
【中学生】

中学生に関しても、いじめを重要視する傾向が強い。9割の生徒が重要との認識を示している。

満足度は7割弱となっているので、日頃から生徒理解に努め、生徒間の人間関係を注視していく必要がある。

(B)満足度

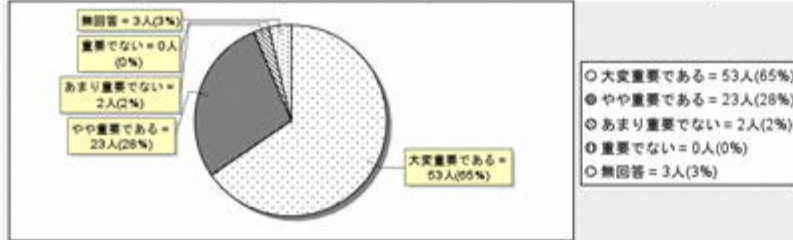
大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
39	53	18	5	20	4	139
28%	38%	12%	3%	14%	2%	100%



9. 学校は差別やいじめへの対応、インターネットを介した人権の尊重に取り組み、自分も自他の大切さを考えている

(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
53	23	2	0	3	81
65%	28%	2%	0%	3%	100%



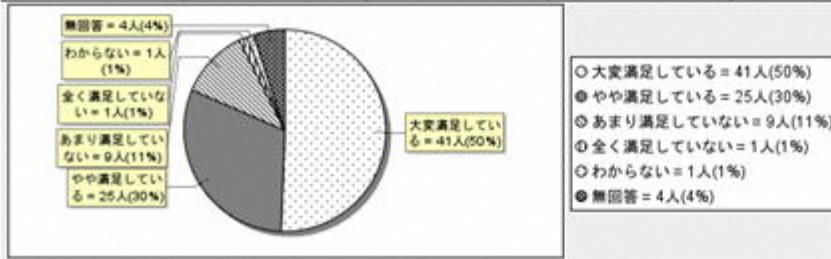
【小学生】

小学生では、重要度は高かったものの、満足度は他の項目と比べてそれほど高いとは言えない。

今後、児童も直面するであろう「ネット社会での人権問題」等、児童自身が当事者意識をもち、正しい人権意識を育てておきたい。今回は、設問に具体性がないため、回答しづらかったのかも知れない。

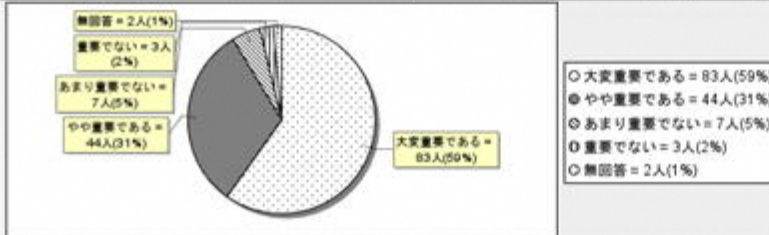
(B)満足度

大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
41	25	9	1	1	4	81
50%	30%	11%	1%	1%	4%	100%



(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
83	44	7	3	2	139
59%	31%	5%	2%	1%	100%



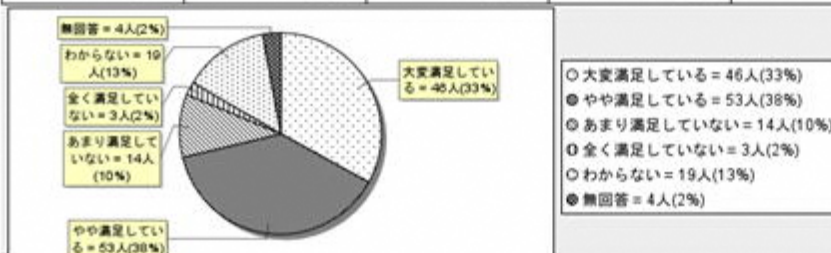
【中学生】

中学生になると、いじめや人権に対する意識が一段と高揚していることがわかる。重要性も9割を超えている。

満足度には重要度ほどの高い傾向がないことは、差別感や人間関係の難しさを感じている生徒が少ないながらもいることに注視しておく必要を感じる。

(B)満足度

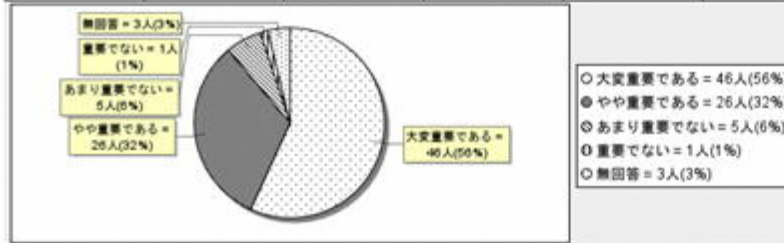
大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
46	53	14	3	19	4	139
33%	38%	10%	2%	13%	2%	100%



10. 自分は、健康づくりに欠かすことのできない、規則正しい生活習慣を身につけている

(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
46	26	5	1	3	81
56%	32%	6%	1%	3%	100%



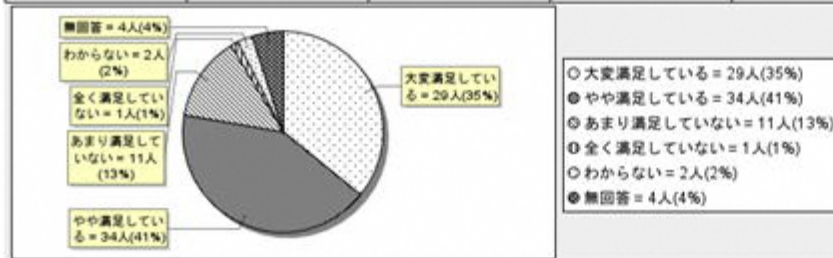
【小学生】

規則正しい生活習慣の形成は、健康づくりはもとより、学力向上にもつながる重要な習慣と考えられるので、家庭との連携を図りながら取り組んでいきたい。

学校において、「睦沢スタンダード」を作成し、指導の徹底を図ってきたことが児童の満足感につながっているものと考えられる。

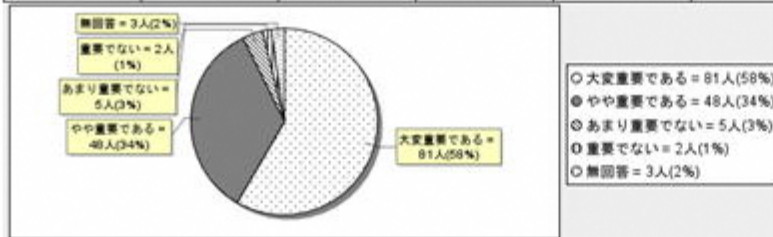
(B)満足度

大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
29	34	11	1	2	4	81
35%	41%	13%	1%	2%	4%	100%



(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
81	48	5	2	3	139
58%	34%	3%	1%	2%	100%



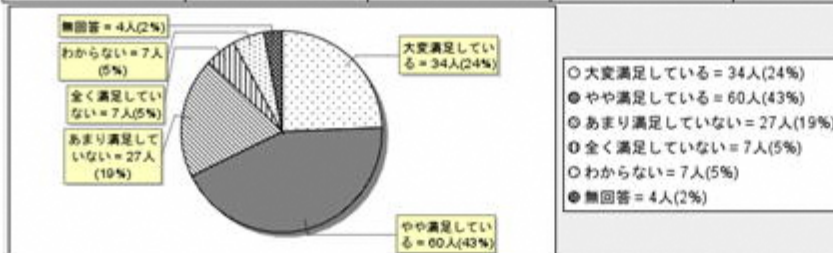
【中学生】

中学生においても、規則正しい生活習慣の重要性は強く認識されているようである。満足感も概ね多くの生徒が持っているものの、小学生と比べると低い割合になっている。

年齢とともに、睡眠時間が減ってしまったりしていることも予想される。個別指導により、生活習慣の見直しをさせる等の指導を行っていくことが大切である。

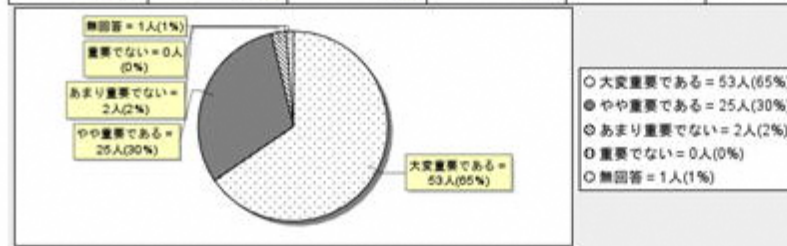
(B)満足度

大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
34	60	27	7	7	4	139
24%	43%	19%	5%	5%	2%	100%



11. 自分は、進んで体を動かすなどの運動習慣が身につについて、自分に合った体力の向上に取り組んでいる

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
53	25	2	0	1	81
65%	30%	2%	0%	1%	100%



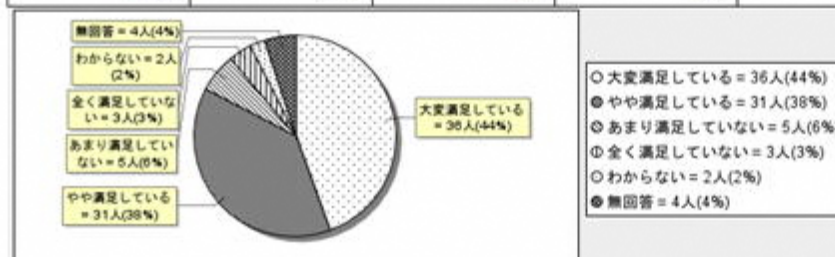
【小学生】

コロナ禍の影響もあり、児童の体力低下は重要課題の一つに取り上げられることがある。児童が考える重要度は非常に高く、満足度も比較的高いと言える。

一方で、体力低下に対する具体策を講じることが望まれる。体力テストの結果を踏まえ、運動の日常化を図るために、全校で取り組む計画を立てたい。

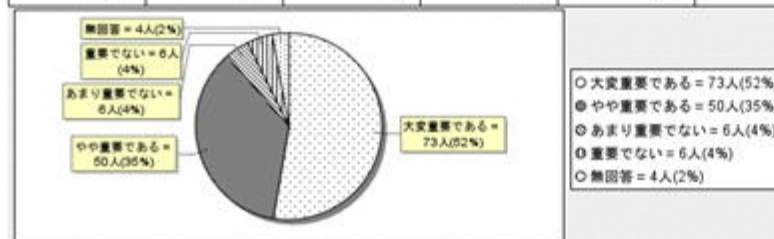
(B)満足度

大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
36	31	5	3	2	4	81
44%	38%	6%	3%	2%	4%	100%



(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
73	50	6	6	4	139
52%	35%	4%	4%	2%	100%



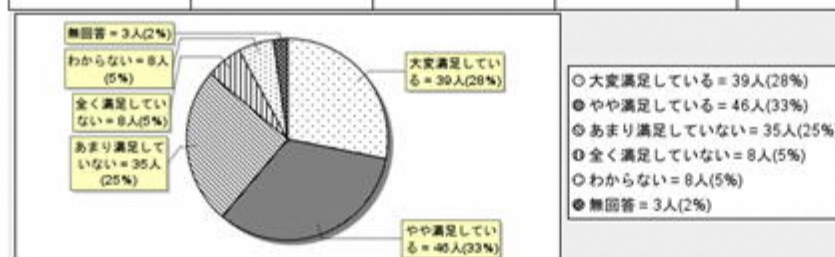
【中学生】

運動習慣や体力の向上については、その重要「度」を認識している生徒が多い。また、満足度は6割を超えるものの、それほど多いとは言えない。3割ほどが満足感を感じていないのは改善が必要などところでもある。

自分の体力の現状を知り、課題解決のプランづくりに取り組ませることも考えられる。部活動については、今後の地域移行も含めた検討が必要である。

(B)満足度

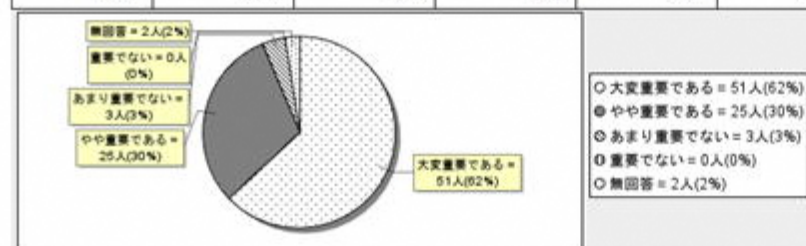
大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
39	46	35	8	8	3	139
28%	33%	25%	5%	5%	2%	100%



12 学校では、特別な教育的支援を必要とする子どもたちに「個に応じた支援」を継続的に提供している

(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
51	25	3	0	2	81
62%	30%	3%	0%	2%	100%



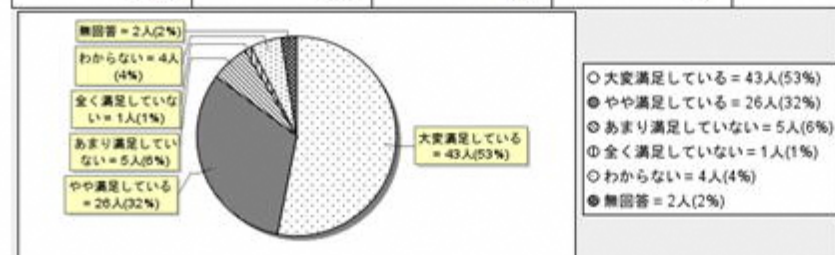
【小学生】

特別支援教育に対する小学生の意識は高いことがわかる。満足度も85%となっており、困り感を抱える児童に対する特別な教育的支援を評価していることがうかがえる。

学校としても、個別の指導計画に沿った効果的な支援のあり方を点検しながら、困り感に寄り添っていく必要がある。

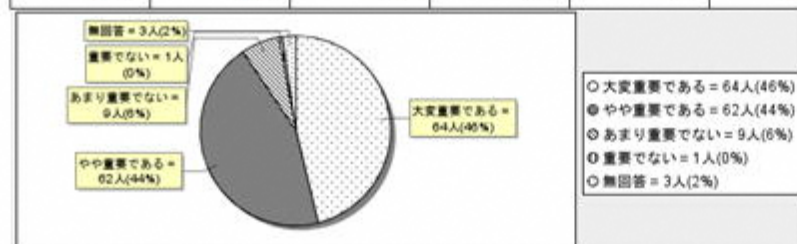
(B)満足度

大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
43	26	5	1	4	2	81
53%	32%	6%	1%	4%	2%	100%



(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
64	62	9	1	3	139
46%	44%	6%	0%	2%	100%



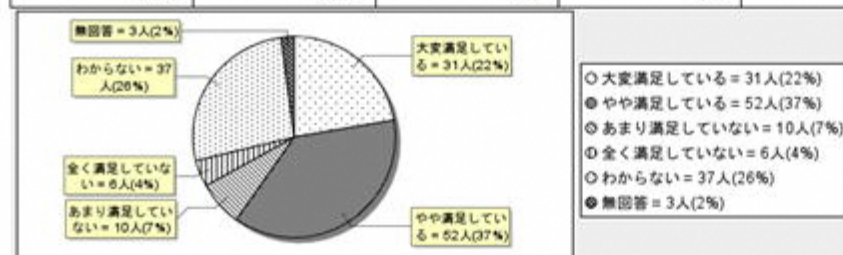
【中学生】

重要度については、小学生と似た割合を示していた。満足度の評価では、「わからない」との回答が多いことがわかる。

自分の周囲に困り感のある友達がいなかったり、具体的にどのような支援が行われているのかわからなかったと考えると、「わからない」との回答は、正直な反応とも考えられる。

(B)満足度

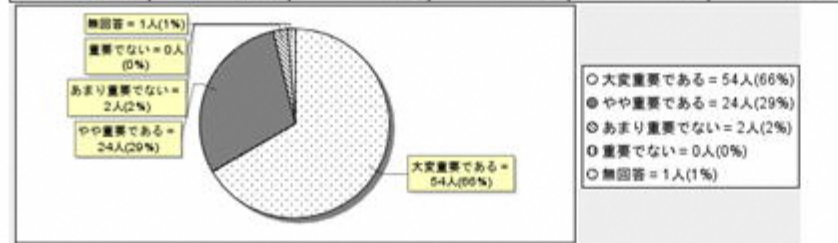
大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
31	52	10	6	37	3	139
22%	37%	7%	4%	26%	2%	100%



13. 学校は、悩み事などの相談に前向きに取り組んでくれ、不登校の未然防止と早期対応に努めている

(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
54	24	2	0	1	81
66%	29%	2%	0%	1%	100%



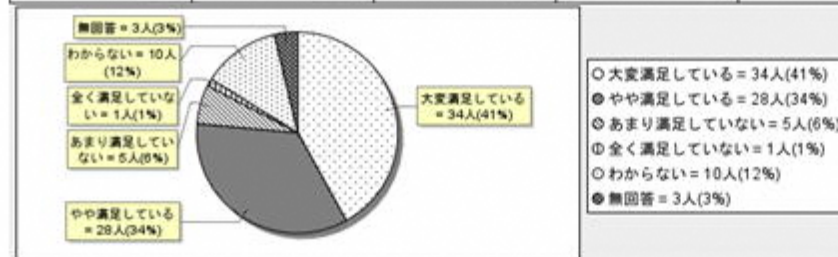
【小学生】

不登校や不適應に対する重要度は97%にも達し、学校に楽しく通えることが児童にとってどれだけ重要なことであるかがわかる。

不登校の原因にもなる「いじめ」については全校で取り組み、望ましい友達関係を構築するための学級経営や生徒指導、道徳教育の充実を図りたい。

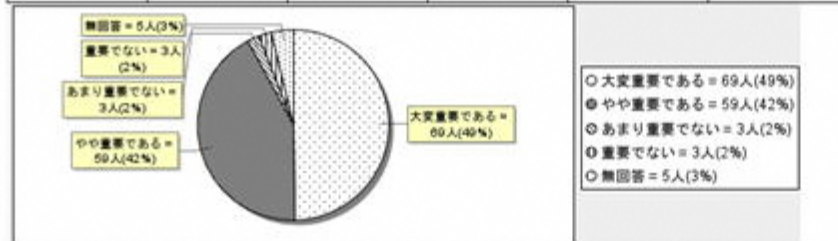
(B)満足度

大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
34	28	5	1	10	3	81
41%	34%	6%	1%	12%	3%	100%



(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
69	59	3	3	5	139
49%	42%	2%	2%	3%	100%



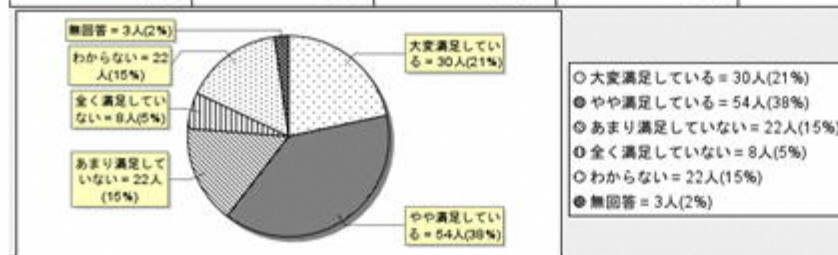
【中学生】

学校生活や友達関係、学習内容の理解等、不適應を越すことはだれの身にも起こりえるものである。

中学生になると、不登校や不適應に対する対応に満足感をもてない増える。悩み事を話せる周囲の友達や教師等が重要であり、日頃から生徒理解を深めるための教育相談に十分配慮しておく必要がある。

(B)満足度

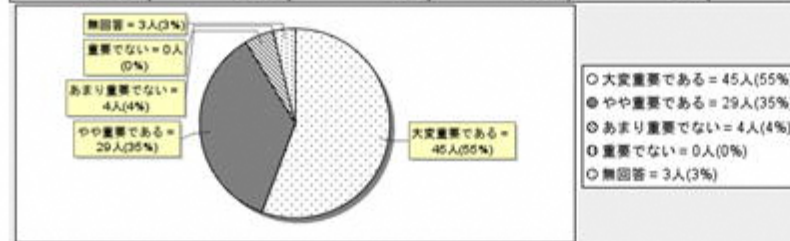
大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
30	54	22	8	22	3	139
21%	38%	15%	5%	15%	2%	100%



14 本町では、家庭教育に課題を抱える保護者への支援が適切に行われている

(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
45	29	4	0	3	81
55%	35%	4%	0%	3%	100%



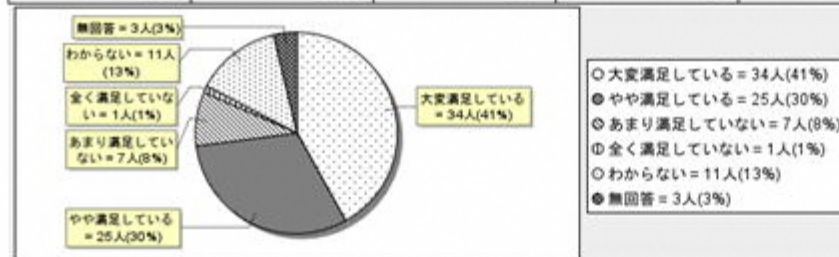
【小学生】

家庭教育に課題を抱える保護者への支援の重要性は高い値を示し、その満足度も70%を超えている。

町の子どもたちが環境の違いによって差が生じることがないように、子どもたちの願いや能力に応じて力が発揮できるような教育の実現が重要となる。

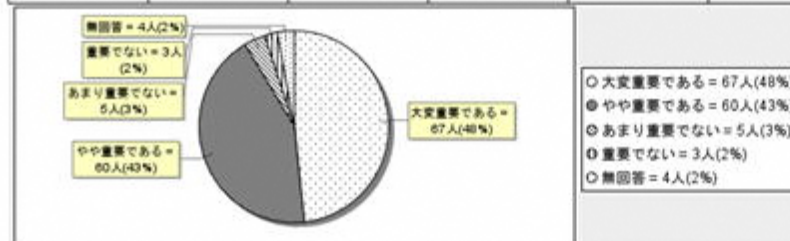
(B)満足度

大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
34	25	7	1	11	3	81
41%	30%	8%	1%	13%	3%	100%



(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
67	60	5	3	4	139
48%	43%	3%	2%	2%	100%



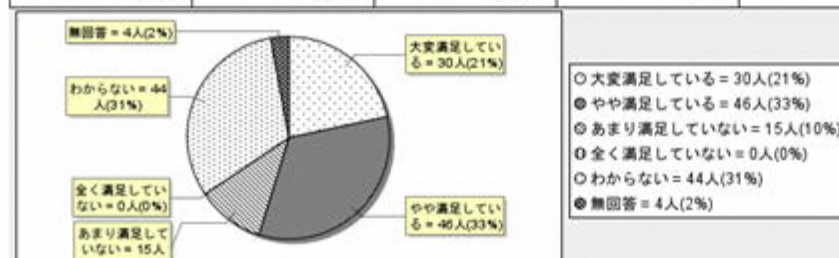
【中学生】

中学生においても、重要度の認識は高く、家庭教育の果たす役割の大きさに気づいているとも考えられる。

「わからない」との回答が多いのも、自分のとの関わりが少ないことからのものと思われる。実際に家庭に課題を抱えているケースに対しては、カウンセラーやスクールソーシャルワーカー、専門機関との連携を深めておきたい。

(B)満足度

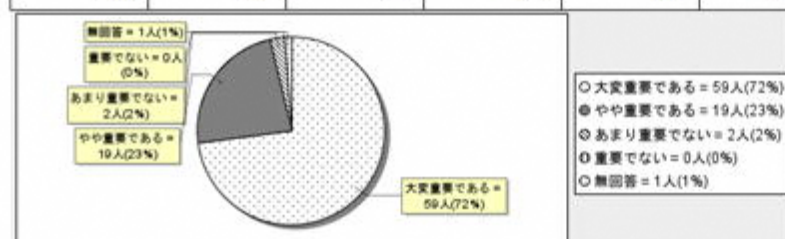
大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
30	46	15	0	44	4	139
21%	33%	10%	0%	31%	2%	100%



15. 学校の先生は、指導力があり、使命感をもって取り組んでいる

(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
59	19	2	0	1	81
72%	23%	2%	0%	1%	100%



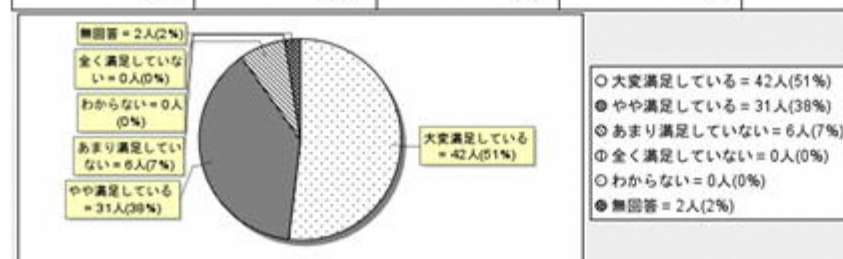
【小学生】

小学生にとって、身近にいる教職員の存在は非常に大きい。満足感をもつ児童がおよそ9割に達しており、教職員との信頼関係が高いことも想像できる。

毎日の授業や生徒指導等、子どもたちにとって、より質の高いものが提供できるよう、授業力や教師力を常に磨く努力を怠らないようにしたい。

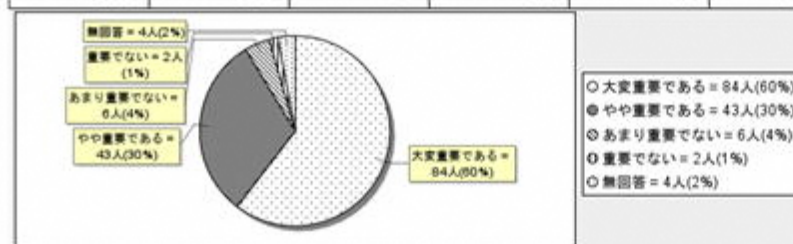
(B)満足度

大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
42	31	6	0	0	2	81
51%	38%	7%	0%	0%	2%	100%



(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
84	43	6	2	4	139
60%	30%	4%	1%	2%	100%



【中学生】

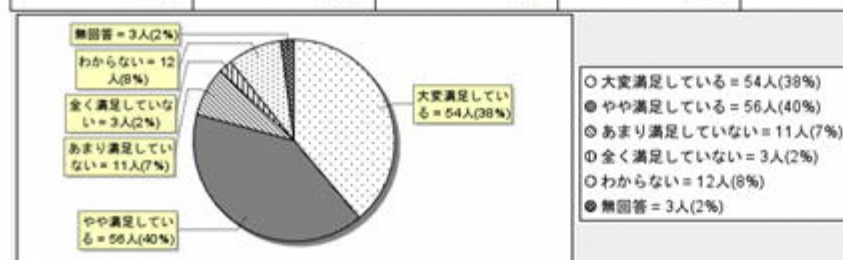
中学生においても、教職員の指導力や使命感には、重要性を認識している。

園小中一貫教育の推進を図る上でも、今年度の公開研究会の経験を生かして、園小中が共同で研究を進める体制を継続したい。

また、授業力とともにICTを活用した学習についてのスキルアップも図りたい。

(B)満足度

大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
54	56	11	3	12	3	139
38%	40%	7%	2%	8%	2%	100%



16. 本町では、こども園、小学校、中学校の接続を大切にした教育やコミュニティ・スクールの機能を生かした「魅力ある学校づくり」を推進している

(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
48	26	3	0	4	81
59%	32%	3%	0%	4%	100%



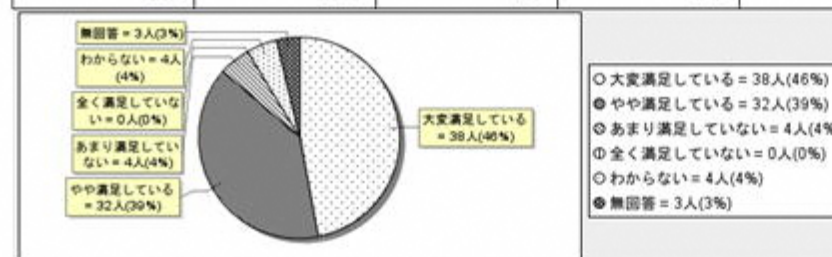
【小学生】

一貫教育やコミュニティスクール等、本町では周辺の地域よりも先取りした教育に取り組んでいる。これらのよさを十分に発揮することが大切となる。

重要度、満足度ともに、比較的高い割合を示していた。小学生にとって、中学校に進学した際の「中1ギャップ」を乗り越えられるような、教科担任制や乗り入れ授業の充実をさらに推進したい。

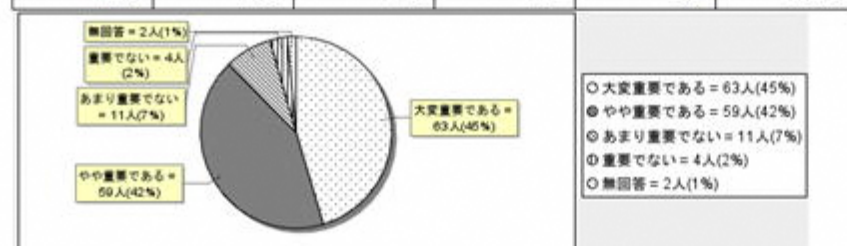
(B)満足度

大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
38	32	4	0	4	3	81
46%	39%	4%	0%	4%	3%	100%



(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
63	59	11	4	2	139
45%	42%	7%	2%	1%	100%



【中学生】

中学生は重要度では、小学生と似た傾向を示したが、満足度では「わからない」との回答が増加した。

一貫教育やコミュニティスクールの実際やそのよさを十分に実感できていないことが考えられる。園小中の接続や地域との連携した学校づくりを今まで以上に具体的に実感させたい。

(B)満足度

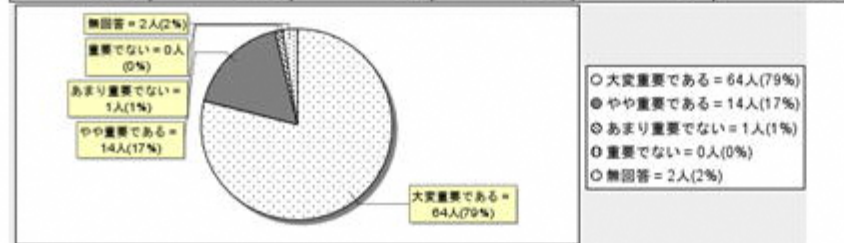
大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
32	65	14	3	23	2	139
23%	46%	10%	2%	16%	1%	100%



17. 自分は、安全意識や危険を回避する力が身につき、避難訓練に真剣に取り組むなど、主体的に行動できるよう努めている

(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
64	14	1	0	2	81
79%	17%	1%	0%	2%	100%



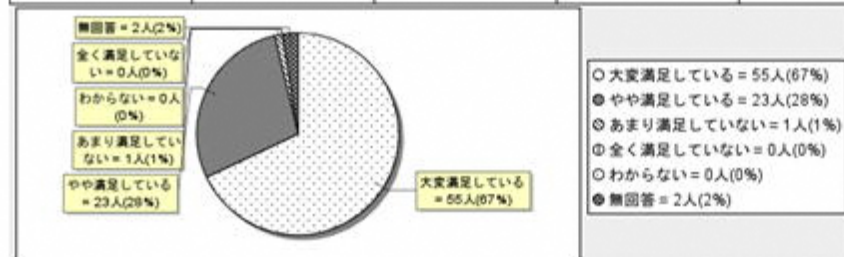
【小学生】

重要度・満足度ともに非常に高い割合を示している。

小学生においても、安全に対する意識は高く、「自分の身は自分で守る」の指導が訓練等を通じて身につけているものと考えられる。危険回避能力がいざというときに生きる力となるように継続した取り組みを行っていくことが重要である。

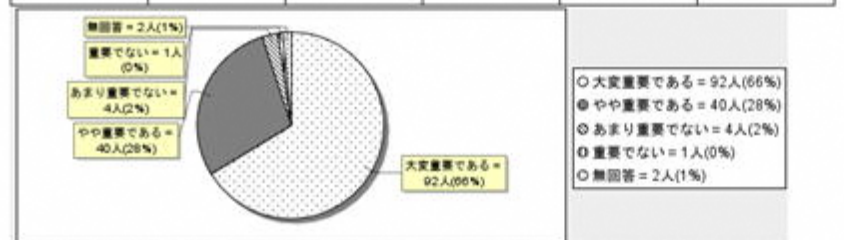
(B)満足度

大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
55	23	1	0	0	2	81
67%	28%	1%	0%	0%	2%	100%



(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
92	40	4	1	2	139
66%	28%	2%	0%	1%	100%



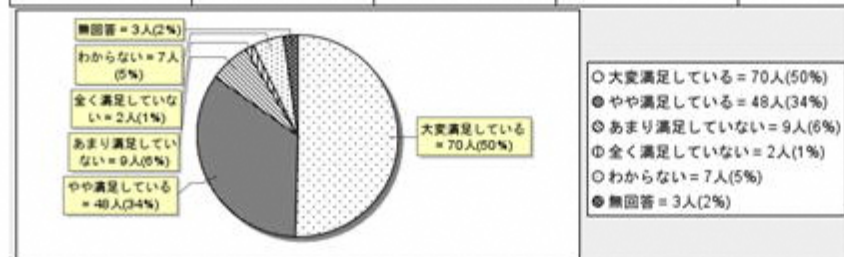
【中学生】

小学生と同様に、重要度・満足度ともに非常に高い割合を示している。

重要と考える「安全」に関して、真剣に向き合い、自ら危険を回避する実践が身についていると考えられる。「命」に関わるものだけに、意識の高揚とともに行動化が求められることになる。

(B)満足度

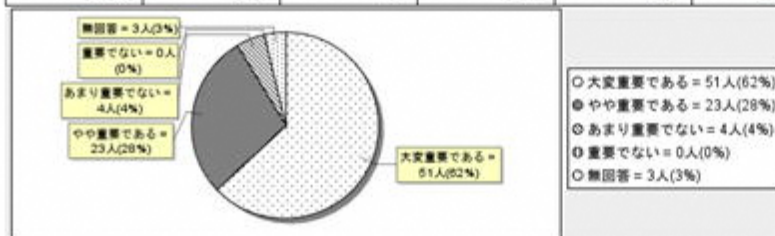
大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
70	48	9	2	7	3	139
50%	34%	6%	1%	5%	2%	100%



18. 学校内では、タブレットや大型モニターなどの機器が整っていて、その機器を使った学習が積極的に行われている

(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
51	23	4	0	3	81
62%	28%	4%	0%	3%	100%



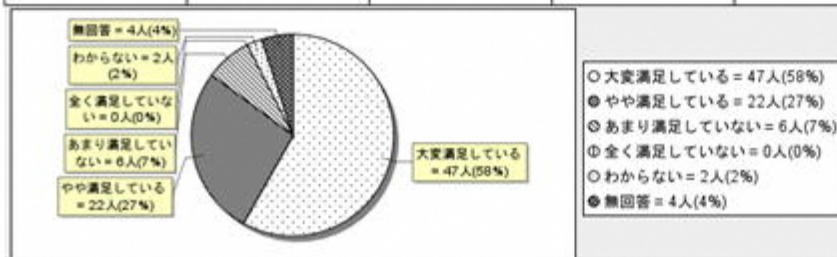
【小学生】

学習環境は、子どもたちの学習意欲や学力向上に大きな影響をもつことが考えられる。

重要度・満足度ともに高い割合を示しており、GIGAスクール構想によるタブレットの配付やWi-Fi環境の整備、デジタル教科書の活用等の充実が図られたことで、子どもたちの学習の質の向上につながっている。

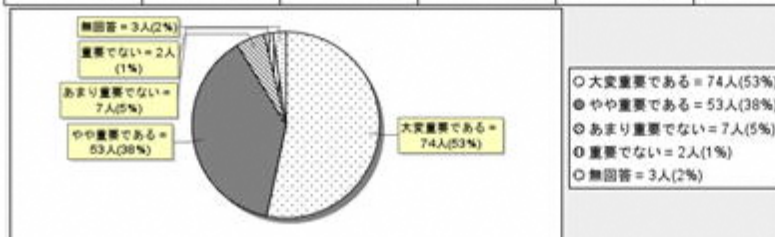
(B)満足度

大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
47	22	6	0	2	4	81
58%	27%	7%	0%	2%	4%	100%



(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
74	53	7	2	3	139
53%	38%	5%	1%	2%	100%



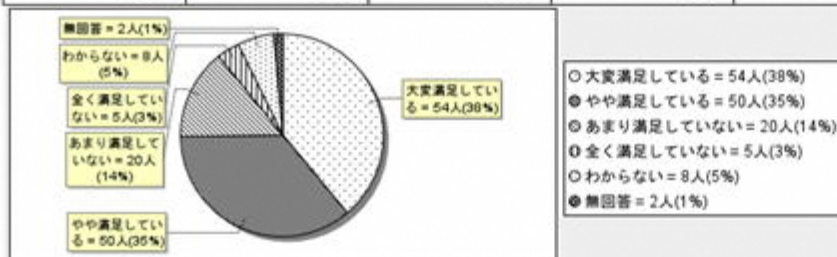
【中学生】

中学生においては、重要であるとの考えが多いものの、満足度は小学生より低い傾向にある。

備品として用意されたICTの環境を有効活用できるような、学習づくりが今後も重要になる。

(B)満足度

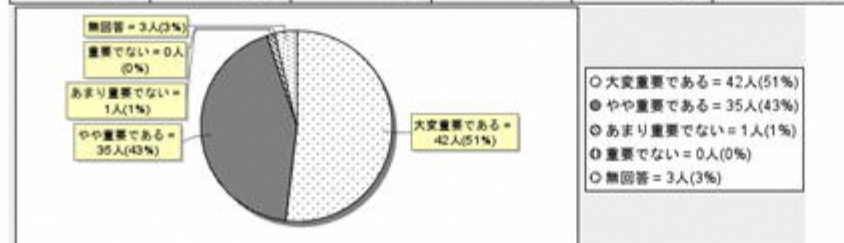
大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
54	50	20	5	8	2	139
38%	35%	14%	3%	5%	1%	100%



19. 本町では、地域全体で家庭での教育を支援する取組が進められている

(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
42	35	1	0	3	81
51%	43%	1%	0%	3%	100%



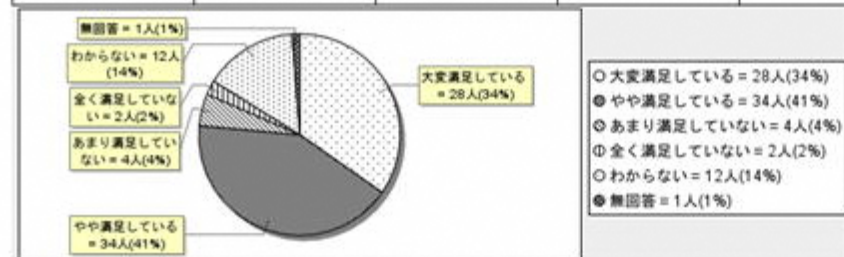
【小学生】

小学生の重要度は非常に高く、満足度も高い割合を示している。

学校と家庭、地域が連携した話し合いの機会をもったり、保護者間の子育ての交流の機会を提供したりすることが、個々の家庭教育の充実にも結びつくはずである。

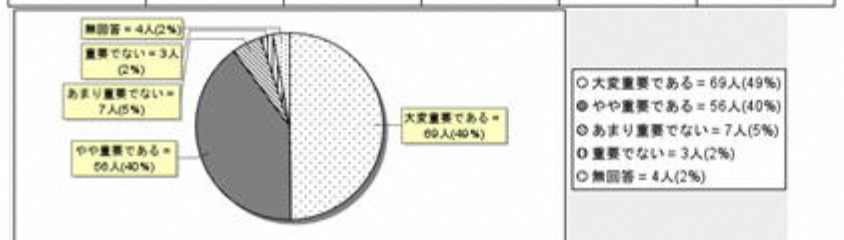
(B)満足度

大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
28	34	4	2	12	1	81
34%	41%	4%	2%	14%	1%	100%



(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
69	56	7	3	4	139
49%	40%	5%	2%	2%	100%



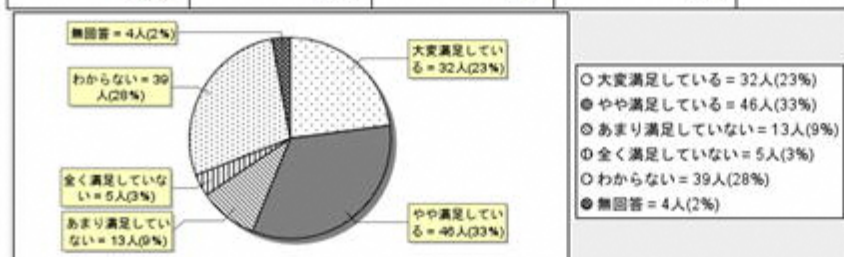
【中学生】

中学生も高い割合で重要であるとの認識をもっている。一方で、満足感では「わからない」との回答も多かった。これは、ある意味正直なところである。

今後は、家庭への有益な情報発信や家庭教育の悩みへの対応を丁寧に行っていきたい。

(B)満足度

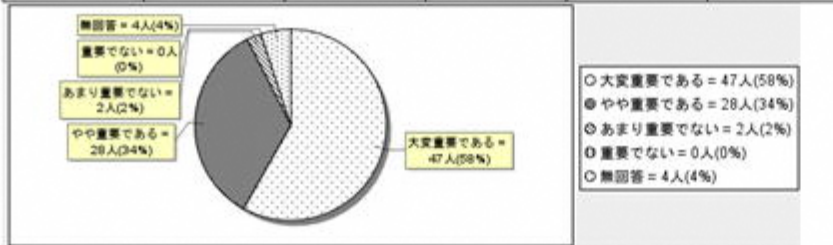
大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
32	46	13	5	39	4	139
23%	33%	9%	3%	28%	2%	100%



20 本町では、学校や家庭、地域が連携し、町全体で教育に取り組むなど、コミュニティ・スクールのよさを生かしている

(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
47	28	2	0	4	81
58%	34%	2%	0%	4%	100%

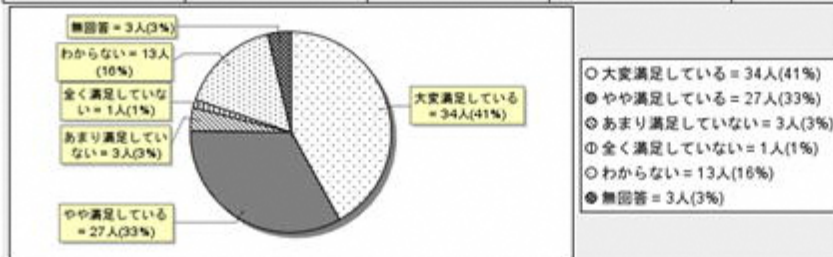


【小学生】

コミュニティスクールは重要であるとの認識はあるものの、その内容やよさが十分に理解されていない現状があると思われる。地域との交流の機会をもちつつ、町のよさや人とのつながりを重視した取組を推進したい。家庭はもちろん、学校や地域の皆の「健やかな成長」への願いに向き合わせたい。

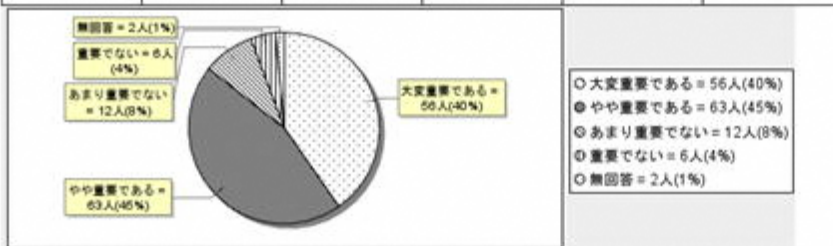
(B)満足度

大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
34	27	3	1	13	3	81
41%	33%	3%	1%	16%	3%	100%



(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
56	63	12	6	2	139
40%	45%	8%	4%	1%	100%

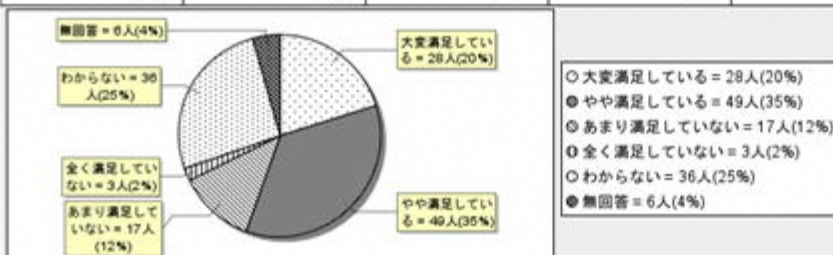


【中学生】

中学生においても、コミュニティスクールの重要性は認識されていることがうかがえる。一方で、コミュニティスクールのよさがどのように生かされているか等、十分な理解ができていないと予想される。今後は、そのよさが実感できるよう、地域との関わり、特に人との交流を大切にしたいと考える。

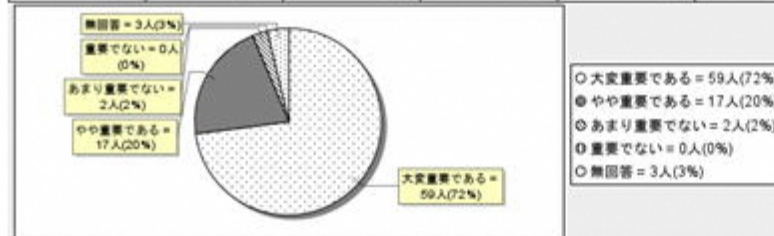
(B)満足度

大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
28	49	17	3	36	6	139
20%	35%	12%	2%	25%	4%	100%



(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
59	17	2	0	3	81
72%	20%	2%	0%	3%	100%



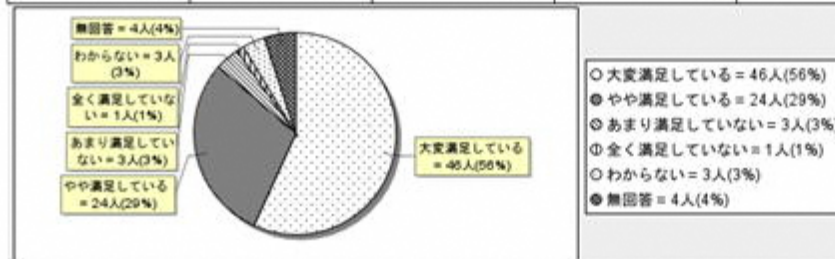
【小学生】

町の生涯学習施設が利用しやすく、そのサービスも充実していることが重要であるとの認識には高い傾向があることがわかった。満足度も85%に達している。

小学生にとっては、生涯学習施設が、重要な学びの起点や貴重な体験の場になっていることも想像できる。

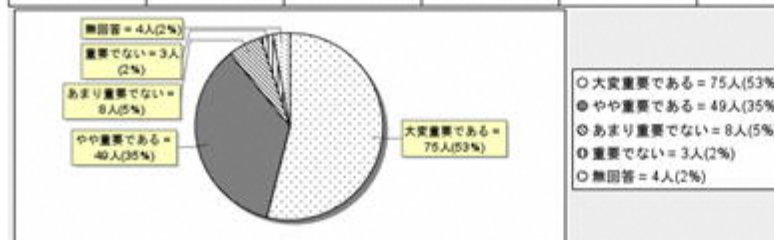
(B)満足度

大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
46	24	3	1	3	4	81
56%	29%	3%	1%	3%	4%	100%



(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
75	49	8	3	4	139
53%	35%	5%	2%	2%	100%



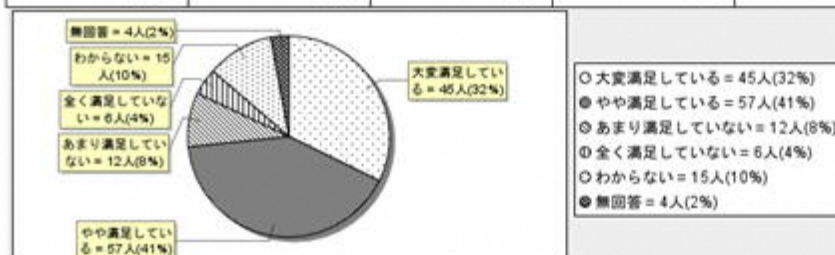
【中学生】

中学生にとっても、町の生涯学習室は重要な位置づけにあることがわかる。満足度も小学生ほどではないが高い傾向にある。

生涯学習施設の利用だけでなく、様々なイベントが町民同士の交流や芸術・歴史・文化に触れる貴重な機会であることが中学生に理解されているものと思われる。

(B)満足度

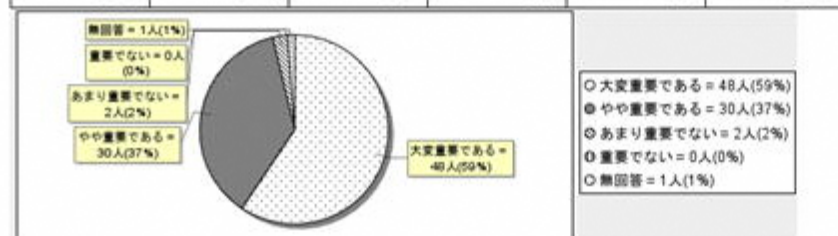
大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
45	57	12	6	15	4	139
32%	41%	8%	4%	10%	2%	100%



22. 本町は、身近に芸術文化を親しむことができるよう、中央公民館やゆうあい館、歴史民俗資料館の活動が充実している

(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
48	30	2	0	1	81
59%	37%	2%	0%	1%	100%



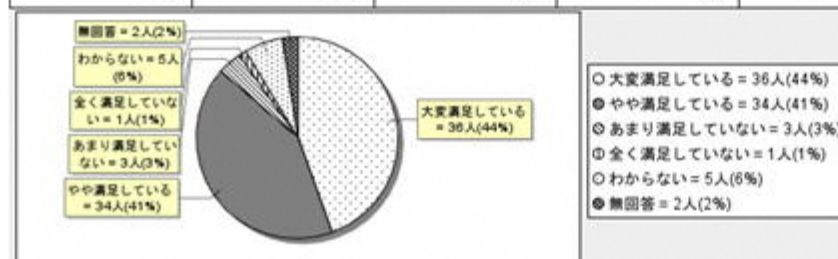
【小学生】

小学生にとって、公民館や資料館等の活動が充実していることは、自分たち町民にとって重要なことであるとの認識がある。その重要度は、96%に達している。

小学生にとっても、様々な体験の場を提供してくれることには満足感を実感しているものと考えられる。

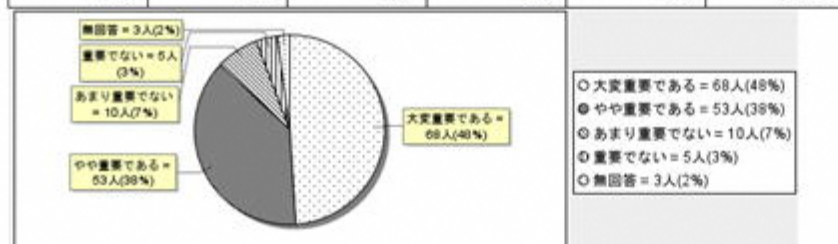
(B)満足度

大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
36	34	3	1	5	2	81
44%	41%	3%	1%	6%	2%	100%



(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
68	53	10	5	3	139
48%	38%	7%	3%	2%	100%



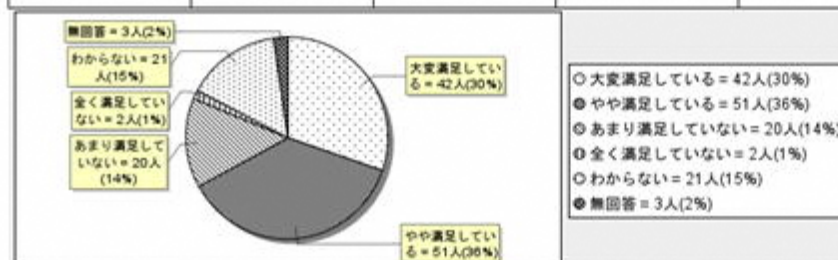
【中学生】

中学生も、小学生ほどではないが、重要度と満足感ともに高い傾向を示している。

町を紹介するビデオ編集では、資料館等生涯学習施設を取り上げる生徒もいた。町で育っていく中で、生涯学習施設での体験等が満足感へとつながっていることも予想される。

(B)満足度

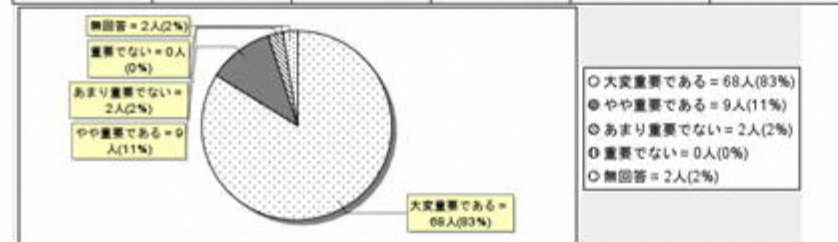
大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
42	51	20	2	21	3	139
30%	36%	14%	1%	15%	2%	100%



23. 本町は、総合運動公園や学校体育施設を活用し、運動やスポーツに親しめる場や機会が提供されている

(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
68	9	2	0	2	81
83%	11%	2%	0%	2%	100%



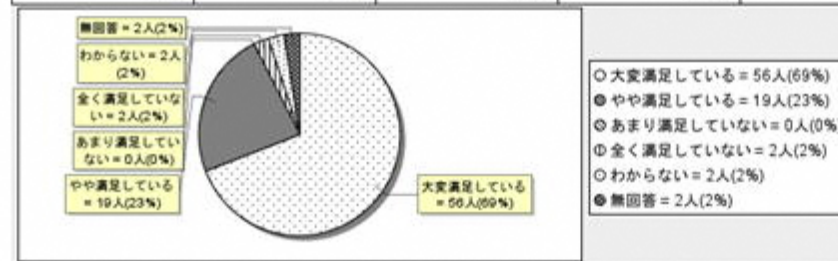
【小学生】

小学生にとって、町にある運動施設の充実には重要度とともに満足度にも高い傾向がみられる。

「ふれあいスポーツクラブ」や「パークむつざわ」開催ののスポーツ教室に参加でき、身近で気軽に楽しむことができる環境が整っていることがこの結果に表れているように感じる。

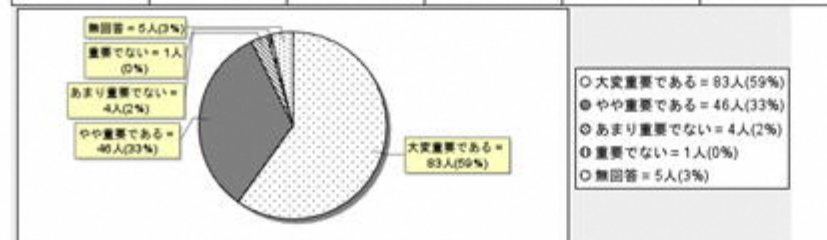
(B)満足度

大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
56	19	0	2	2	2	81
69%	23%	0%	2%	2%	2%	100%



(A)重要度

大変重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	計
83	46	4	1	5	139
59%	33%	2%	0%	3%	100%



【中学生】

小学生同様、重要度・満足度ともに高い傾向がある。

今後の部活動の地域移行に向けて、これらの施設を有効活用するための指導者の確保や予算計上等、関係機関や関係者での協議を進めていきたい。

(B)満足度

大変満足している	やや満足している	あまり満足していない	全く満足していない	わからない	無回答	計
64	47	8	4	13	3	139
46%	33%	5%	2%	9%	2%	100%

